

~shchc wolkneq~ 心身共にお得な本

2022.02月 Vol177

目黒区目黒本町 1-10-17

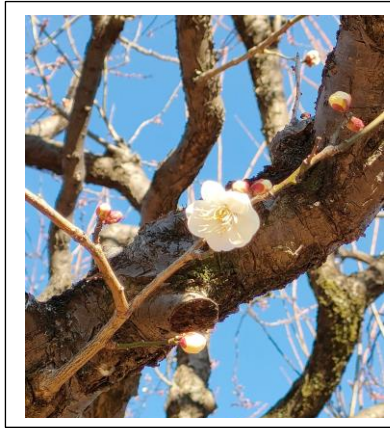
03-3716-1704

八海山先達

佐藤智江



寒い寒いといいながら梅の便りがあちらこちらから届いております。



写真は、小金井公園よりJさん撮影のものをお借りいたしました<m(_)_m>

その梅ですが、なぜ『ウメ』と名がついたかご存じでしょうか？

『ウメ』の語源

何の現象もない宇宙が活動を開始して何だか知れないが、何かが動き出す。古人はこの**元始の意識の一点に言霊ウ**と名付けたのです。一番初めということですね。生まれる。うごめく。動く。海。に『ウ』という音を当てたのも、そういう意味です。言葉の奥には言霊（言葉のヒトの霊・魂）があるのです。

梅の木は冬まだ去りやらぬ白一色の野に、春に先駆けて生命の息吹をともしえる花を咲かせる。**言霊ウの芽の意味**で、その花を「ウメ」と名付けたのですそしてこの宇宙の一番初めという言霊ウを表す指月の指に当たる神様が、天の御中主（天のど真ん中の主という意味です）**ちなみに天というのは頭の上・空・宇宙を指す天ではなく、人間の無限に広がる心を天と、例えたのです。**

さて、最近『近々両用メガネ』手元の本とPC画面に適用という優れものを作ってください、事務作業もご機嫌の佐藤です(創業100年虎ノ門西島眼鏡店にて)

言霊学事始

山腰明将講演録「言霊」から始まる
新言霊学宣言

言霊学会
七沢賢治 著

近代言霊学の礎を築いた山腰明将氏の教えとは何か。150年にあたる一子相伝の歴史を打ち破り今ここに全人類に向けて「新言霊学」を宣言する。

その眼鏡のお陰で、コトタマ幸座第Ⅱ期の資料作りもサクサク進んでおります。今回は**山腰明将先生(当時陸軍少佐)の講演録(言霊学事始)**をテキストに進めてまいります。

1940(s15)年3月2日より

週1回、全10回にわたり、東京築地の海軍将校のクラブ、水交社に於て、**日本の皇族方、内閣総理大臣 林銑十郎、陸海軍の大將・元帥、政府高官、情報局長、警視總監、等日本国の上層部の人々を前にして「言霊」と題した講演**をまとめた本です。

す〜んごい面々ですよ。そのような方たちが陸軍少佐の立場の明将氏の話に興味深々で聞いていたにも係わらず、なぜ現在メジャーな学問となっていないのか??

残念ながら、日本は敗戦国。勝戦国としては、このコトタマ学を表に出したくなかたなのでしょう。(正に本物の証)山腰明将氏は、1951(s26)進駐軍との自動車事故で死亡。それまでの研究の資料も『言霊』という本一冊を残し皇居賢所に残るもの以外、すべて焼かれてしまった。ということで、かなりの圧力で封じ込められていたのです。ですが、日本の底力。本物は決してなくなりませんでした。

縄文時代からの英知 このコトタマの理解が広まることによって、精神世界でもない 物質世界でもない 両方のいいとこ取りをする第3文明が訪れること。それこそが、人々が心穏やかに過ごせる世界平和への道になる【天地の大道】であると。先人方が命を削り守ってきたもの。それに関する何かに携わりたいと、無性に掻き立てるものに突き動かされて、見切り発車であることは承知の上 第Ⅱ期の幸座を始めたいと思います

チー神チャンネルにて配信(2月3日ゼロ回より配信)いたしますので、縄文時代からの叡智コトタマの学びを是非ご覧くださいませ<m(_)_m>

コトタマの学びは、人はなぜそう考え行動するのか? 同じ環境の下でも、苛立つ人、幸福を感じずる人。それを解明する指南書です。心理学中の心理学と言われる由縁です。心の中の話ですので心を鎮めることが、必須条件。それは同時に、現在の力を十二分に発揮する為の必須条件でもあります(_ -) - ☆

【今月の付箋】心と体が自在に使える「気の呼吸」 著：藤平信一

一般的に「合気道」と聞くと、相手を投げたり、倒したりする姿だけをイメージする人が多いかもしれませんが、心身統一合気道が教えていることは全く違います。その目的は（①）、自分の持つ力を最大限にはっきりすることです。まさに本書のテーマと合致しています。では、なぜ力を発揮できるのか？ どうしたらそれが可能になるのか？ 答えは、本書を読み進めるうちにわかってきますが、ここではひとつだけその一端となるエピソードをご紹介します。

例えばスポーツの世界では「より大きな力が出るように」と（②）を鍛えることを重視してきました。もちろん、これはとても大事なことです。そうやって鍛えた力を効果的に発揮するためには、全身の余分な力を抜いていることが不可欠です。しかしながら、その「余分な力を抜く」というトレーニングが足りていないように思います。また、根性や強気など、「心を強くする」ことが重視されてきました。もちろん、これも勝負においては大事なことです。しかし、その「強い心」になるためには心が静まった状態であればならないのです。ところが、「（③）」というトレーニングはほとんどされてこなかった、というのが実情でしょう。

ドジャースの指導をしている時も、それを随所に感じました。

①どんな状況に置かれても ②筋力 ③心を鎮める

自分の中に中心を持つと、動作も変わってきます。動く時は、その中心から移動すれば良いのです。これは、あらゆる運動の基本であり、

「（④）から動く」と表現します。

また、自分の中に（⑤）を持つと、物事に動じなくなります。例えば、アスリートや経営者の中には、「不動心」になりたいと思う人が多数いますが、それは無神経、無感覚になることではありません。物事に動じなくなるためには、自分の中に「中心」を持つことが不可欠です。常に中心を保って対応するからこそ、物事に動じなくなるのです。ただし、その時に重要なのは「何を中心にするか」です。「自分」ではなく、「天地の中心」を自分の中に捉える。すると、天地と一体となり、（⑥）を自分の下腹に包蔵することができます。

④臍下の一点 ⑤中心 ⑥天地の中心

~~~~~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*

【お知らせ】 自転車の空気入れあります！ご入用の際にはお声がけくださいませ♪

*02月15日(火)は 己書幸座の為、18時からの営業とさせていただきます

*02月27・28日(日月)は 当院護摩祈禱の為、27日15時～臨時休業とさせていただきます

魂の浄化である護摩祈禱に、ご家族、ご友人お誘いあわせの上ご参加ください。(zoom 配信あり)

(会員でない方もぜひ！但し神事の為、喪中の方は不可。)

毎月27・28日に当院にてお護摩のご祈禱をいたします。当院で執行する**神道の護摩祈禱**は、護摩木を燃え盛る炎の中にご自身でくべていただきます。護摩壇の上には薄い紙。切り下げを吊るして行います。大厄を消除し家内安全、商売繁昌、健康長寿、世界平和など、私たちの諸願成就をお祈りするものです。ぜひ**お護摩の音と香と熱氣をご自身で体感できる、参加型のお護摩のご祈禱**を体験なさってください

~~~~~~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*~~~~~*

家呑みトモごはん【長芋ガーリックステーキ】 長芋はレアに焼いてね 焦げ目の外はトロッ、中はサクッ。



- ①にんにくスライス オリーブオイルでこんがり焼いて取り出す
- ②残りの油で長芋角切りに焼き色を付ける
- ③醤油を回しかけ香を立て、黒コショウ
- ④盛り付け最後に①のニンニクを散らす

By 高